

## 令和4年 12月定例会 市長提案説明

12月定例会の開催に当たりまして、所信の一端を申し上げますとともに、今議会に提案いたしました議案の概要につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに、昨日11月30日に41件の「風流踊」のユネスコ無形文化遺産への登録が決まりました。

「ゆかりのまち」長野県佐久市の跡部の踊り念仏、「斎田ゆかりの地」香川県綾川町の滝宮の念仏踊も、この中に含まれており、栄えある御登録にお祝いを申し上げますとともに、貴重な伝統行事が末永く守り継がれますことを期待いたします。

今年も全国各地で記録的な大雨が発生し、甚大な被害がもたらされました。9月のシルバーウィーク後半には、台風15号の接近に伴い、幸い本市には大きな影響はございませんでしたが、静岡市では、水道水源において取水施設が破損し、約6万3千戸が断水するという事態に陥りました。この非常事態により、静岡市から「災害時相互応援に関する協定」に基づき、応急給水活動の応援要請があり、本市におきましても、その要請に対し即時に体制を構築し、9月25日から28日までの4日間、上下水道局の3トン給水車1台と職員延べ10名を派遣し、昼夜を問わず、地元ボランティアと協力し合いながら、合計で給水車延べ21車分、約6万3千リットルの給水を行いました。

断水は10月初旬に解消されたようですが、今回の応急給水活動を通して、非常に心温まる感謝のお手紙をいただくなど、その活動の成果は大きかったと感念しているところでございます。近年、自然災害は増加傾向であり、いつ何時、逆の立場になるとも分かりません。そのようなことから、改めて災害時における相互応援体制の必要性や重要性を実感したところでございます。

また、本市の水道事業は、まもなく90周年を迎えることから、浄水場を始めとする施設の維持管理、並びに災害対策に万全を期し、安全・安心な水を安定的に供給できる体制を維持してまいります。

本市では、令和6年度に向けて、新しい災害対策本部の構築に取り組んでおります。この新体制では、本部におきまして全庁的な目標レベルの達成を目指し、現地での実施は各部に任せて権限移譲すること、また、その時ごとの優先順位付けを行い、柔軟な人的配置

ができるようにすることを主眼に置いた「目標管理型組織」を導入し、さらなる災害対策本部機能の強化を図ってまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

新型コロナウイルス感染症の感染状況につきましては、市内の一日当たりの新規感染者数が1,000人を超える日を何度か記録した8月下旬をピークに、新規感染者数は減少傾向にあるものの、今年の冬は、この夏のピークを上回る感染拡大が生じる可能性があることに加え、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されております。

このような状況の中、本市におきましては、市民の皆様には「感染しない、感染させない」ための基本的な感染防止対策の徹底による感染リスク低下に向けた取組の周知に努め、また、医療関係者の方々と連携を図りつつ、高齢者など重症化リスクの高いかたに対する健康観察の重点化、高齢者施設などの感染拡大防止、流行状況に応じた「岡崎市健康フォローアップセンター」の拡充など、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に全力を尽くしてまいります。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、9月末からオミクロン株対応のワクチンを使用した追加接種を進めております。

オミクロン株対応のワクチン接種を受けるためには、従来型ワクチンを使用した初回接種の完了から、3か月以上経過している必要があります。現時点での接種が受けられる期間は、令和5年3月末までとされておりますので、オミクロン株対応のワクチン接種を希望されるかたは今月中に初回接種の完了をお願いいたします。

そして、この度、生後6か月から4歳の乳幼児を対象にしたワクチン接種も始まりました。乳幼児につきましては、接種券発行を申請方式とさせていただいておりますので、接種を希望されるかたは接種券発行を申請の上、市内の小児科を中心とした各医療機関にて接種をお願いいたします。

また、季節性インフルエンザ対策としまして、今年度は定期接種の対象となる65歳以上のかたなどへの無料接種に加え、新たに受験や就職などを控えている中学3年生と高校3年生の年齢に相当するかたに対し、接種費用の一部を助成する事業を実施しております。

新型コロナウイルス感染症は、毎年、年末年始に感染拡大が起きております。さらに、今年は季節性インフルエンザの同時流行も懸念されており、様々な活動が再開される中、年末年始を楽しみにしてみえる市民の皆様も多くお見えのことと思いますので、新型コロ

ナウウイルス感染症への対応と社会経済活動との両立に向けて、引き続き市民の皆様には、基本的な感染防止対策に御理解や御協力をいただくとともに、感染予防や重症化予防の観点から、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザのワクチン接種を希望されるかたは早めの接種をお願いいたします。

さて、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の中、事業者支援や地域経済の活性化を図るため、11月5日、6日の両日、乙川河川敷において家康公秋まつり商工フェア及び農林業祭を開催いたしました。

今年度は昨年度と同様に、長引くコロナ禍により打撃を受けている商工事業者や農林業者の支援を目的として、しっかりとしたコロナ対策を講じた上で、本市の魅力ある物産品、農林産物、特産品の展示、販売をしていただきました。

さらに、市民の皆様にも賑わいも感じていただきたいと、コロナで中止していましたステージイベントを3年ぶりに実施いたしました。

商工フェアの各所でのイベントの景品として、今回、会場内で利用できるカード型通貨「家康エド」を発行し、来場者に各店舗でご利用いただきました。今後12月末日まで、市内の協力店や事業所でも利用可能となっておりますので、市内店舗の回遊機会の創出や地域経済の活性化にもつなげることができたと思っております。

また、大河ドラマ「どうする家康」を契機とした一過性の経済効果ではない、持続可能な店舗経営へつなげていただくよう取り組んでおります、地域店舗ファンづくり推進事業の進捗でございますが、5月から登録事業者の募集を始め、11月末現在、市内560を超える事業者に登録いただいております。ファンづくり事業の一環として、岡崎の商品を市内外の様々なかたに知っていただけるよう、イオンモール岡崎を始めとして名鉄百貨店、NEOPASA岡崎、ジブリパーク開園にあわせて開催されたあいち市町村フェアなどに出店していただいております、地元特産品を使った商品が、お客様に好評を得ていると伺っております。出店を通して本市のファンづくり登録事業者を表す「家康印」の商品が全国に広まっていくことを期待しております。さらには、本日から県内の主要商業施設や名鉄名古屋駅などに登録店舗を紹介したパンフレットを並べております。

また、ふるさと納税制度を活用した「おかざき応援寄附金」についての新たな取り組み

としまして、今まで対象としづらかった宿泊・飲食・理容・美容を対象とする電子商品券「PayPay商品券」の取り扱いを開始いたします。この商品券は、「さとふる」と「PayPay」が新たに企画したサービスであり、第一弾として利用開始となる約30の自治体の一つとして本市も参画したものでございます。市外からの観光客にこの商品券を返礼品とする「ふるさと納税」をしていただき、岡崎の魅力を感じていただくとともに、地元事業者の売上向上につなげたいと考えております。

国は、ウイズコロナの下、社会経済の正常化が進展する一方、原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギー・食料品等の価格上昇が国民生活・事業活動に大きな影響を及ぼしているほか、世界的な景気後退懸念が高まっていることから、今後、この難局を乗り越え、さらにその先の未来に向け、日本経済を持続可能で一段高い成長経路に乗せていくために、「物価高・円安への対応」、「構造的な賃上げ」、「成長のための投資と改革」を重点分野とした、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定し、日本経済を再生することとしております。

本市におきましても、国の「総合経済対策」にしっかりと呼応するために、国や県と緊密に連携を取りながら、必要な対策を適時適切に講じてまいります。

次に、3年間待ちに待ったWRC世界ラリー選手権「FORUM8 Rally Japan2022」が、11月10日から13日までの間、愛知県と岐阜県で開催されました。12日の土曜日には、世界のラリーカーが、額田のスペシャルステージと、乙川河川敷の特設スーパースペシャルステージを疾走し、移動区間であるリエゾンでは、市内の一般道を走行しました。

県内外を始め、世界各国から多くの観客が本市へ来ていただき、額田SSでは、有料観客と地元住民を合わせて約500人、乙川河川敷周辺では、有料エリアには約7,500人、無料エリアも合わせると約3万人以上のかたに、世界一の座をかけた迫力のレースを観戦いただきました。

また、会場周辺では岡崎グルメや、岡崎デジタルアートナイトフェスティバル、QURUWAマルシェ、パブリックビューイングなど本市独自のおもてなしを楽しんでいただきました。

さらに、翌日の13日に開催いたしました、WRCの併催イベント「おかざきクルマまつり2022」では、前日のWRCで使用しましたコースを利用し、ラリーカーの同乗体験会やは

たらく車の展示、ラリーカーのデモラン、パブリックビューイングなど行い、悪天候の中にもかかわらず、3千名以上のかたに来場いただきました。

この大会を通して、世界大会というイベントの強烈なインパクトを受けるとともに、来年以降も引き続き誘致を続け、本市のスポーツ振興のみならず、地域の活性化につなげる想いを新たにいたしました。

夏の花火大会、秋の家康行列、商工フェア、農林業祭などでは市民に笑顔があふれ、できてよかったね、来年もできるといいねといった声が聞かれるなど、市民に希望を与えるものだと実感しました。こうした行事は単なる行事ではなく、市民の岡崎に対する誇り、愛着といったものにもつながり、行政としてはできる限りやらなければならないものだとの思いも抱いています。

次に、冬の岡崎の夜を彩る「岡崎デジタルアートナイトフェスティバル」を、11月はWRCに併せて開催し、12月はクリスマス、1月は大河ドラマ館や岡崎城のオープンに併せた3日間で開催を予定しております。

文化庁の「日本博」令和4年度文化資源活用推進事業に採択され、本市ならではの歴史・文化と先端技術のデジタルアートを融合させた、日本の美を体感できるアートイベントでございます。

最新のデジタル技術により、本市の豊富な歴史文化資産をアートコンテンツとして活用し、岡崎城の天守閣や大手門などの公共空間にプロジェクションマッピングを投影するなどして歴史や文化を魅力的に発信し、質の高いデジタルアートに触れる機会を作るとともに、夜間のまちなかににぎわいを創出し、ナイトタイムエコノミーも推進していきます。

この事業で、市内外の多くの皆様に本市の新たな魅力を体感いただき、本市の歴史文化やデジタルアートに興味を持ってもらいたいと考えています。

それでは、本議会に提案いたしております議案について説明させていただきます。

まず、条例議案でございますが、制定条例といたしましては、個人情報保護に関する法律の一部改正により、地方公共団体の個人情報等の取扱いについて、法で全国的な共通ルールが規定されたことに伴い、岡崎市個人情報保護条例を廃止するとともに、法の施行に関し必要な事項を定める「岡崎市個人情報保護法施行条例」、南公園を家族レクリエーシ

ョン型の公園として再整備するため、南公園の区域を特別用途地区として指定することに  
伴い、当該地区内における建築物の制限を緩和する「岡崎市特別用途地区内における建築  
物の制限の緩和に関する条例」の2件でございます。

次に、改正条例といたしまして、多数の者が訪れる催しの際に生じる駐車場周辺の交通  
渋滞の緩和を図るため、予約制駐車場サービスの導入や需給を踏まえた使用料の額に見直  
しを行う「岡崎市駐車場条例の一部改正」及び「岡崎市都市公園条例の一部改正」、下水道  
事業における受益者負担金及び分担金について、賦課徴収及び徴収猶予の債権管理等を適  
切に継続していくために、規定の明確化を行う「岡崎市下水道事業の受益者負担金及び分  
担金に関する条例の一部改正」など8件、合わせて10件を提案させていただいております。

その他議案といたしましては、岡崎の特産品である八丁味噌の製造会社が所在する町の  
名称を変更し、地理的表示保護制度の見直し支援につなげる「町の区域の設定」、東名高速  
道路「(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジ」の事業用地として市の用地を売り払  
う「財産の処分」など9件を提案させていただいております。

続きまして、補正予算議案でございますが、一般会計の補正は 17億6,627万  
2千円の増額、特別会計は2億1,460万4千円の増額、企業会計は7億209万  
5千円の増額補正をお願いしております。

一般会計の主なものとしましては、

総務費は、株式会社岡崎さくら電力の料金改定などにより、市の施設の電気及びガス使  
用料に不足が見込まれることによる継続契約集合支払特別会計への繰出金の増額、

民生費は、コロナ禍における日常生活の不安や、電気・ガスを含む物価高騰など経済状  
況の急激な変動により影響を受けている、障がい者手帳所持者、本年度末時点で75歳以上  
の高齢者及び高校生以下の子どもを対象に、精神的・経済的な負担軽減を図るための緊急  
対策として、クオカードを配布するための生活支援事業費の計上、

衛生費は、コロナ禍の長期化の影響などに伴う、受診者数の大幅な減少による、救急医  
療体制運営費補助金の増額及び難病患者等を対象にクオカードを配布するための生活支援  
事業費の計上、

農林業費は、肥料価格の高騰により影響を受けている農業者に対する支援金の計上、

商工費は、岡崎公園周辺において、大河ドラマ館の世界観と一体となった装飾を行うた

めの大河ドラマ活用委託料の増額、

土木費は、国庫補助の追加配分に伴い、事業進捗を図るための東奥洞七ツ池線における道路新設改良工事請負費などの計上、

教育費は、重油、電気及びガスの単価高騰による学校給食業務委託料の増額をお願いしております。

次に、繰越明許費であります。産業立地誘導地区開発推進事業始め13事業につきまして、それぞれ年度内完了が見込まれないことから、繰越しをお願いしております。

また、債務負担行為につきましては、市議会だよりの作成に要する経費を始め42件の事項につきまして、それぞれ令和5年度当初予算に先立ち契約を早期に進めるため、債務負担行為の追加をお願いしております。

以上が、本議会に提案をいたしました議案の大要であります。

さて、本宿駅周辺地域を進めております拠点整備についてであります。

本宿駅周辺におきまして、現在、市街化調整区域であります。約36.6ヘクタールの土地を、来年3月末を目途に市街化区域へ編入されるよう、手続を進めており、市街化区域へ編入されることにより、2つの土地区画整理事業の開始が予定されております。

まず、本市の東の玄関口に相応しい広域観光交流拠点として、愛知県初の本格的なアウトレットモールを整備する土地区画整理でございます。

まだ事業スケジュールや店舗数などは明らかではございませんが、今後の事業者による発表を楽しみにしております。

なお、アウトレットモールの整備だけでなく、国道1号までの道路を、骨格道路として本市と共同で整備していただき、周辺道路の混雑緩和に事業者としてもしっかりと取り組んでいただけることとなっております。

そして、本宿駅に隣接する地域拠点における土地区画整理事業においては、事業化検討パートナー及び発起人会とともに公民連携による魅力あるまちづくりの計画及び事業化に向けた検討を進めております。

次に、ゼロカーボンシティの実現に向けては、この度、本市と愛知県及び三菱自動車工

業株式会社との共同提案「どうする脱炭素？岡崎城下からはじまる、省エネ・創エネ・蓄エネ・調エネのまちづくり」が、環境省において脱炭素先行地域に選定されました。

脱炭素先行地域は、全国に100箇所程度選定するもので、今回の募集では、全国から50件の提案があり、20件が選定されました。

脱炭素先行地域に選定されましたことにより、今後、国からの手厚い財政支援を受け、QURUWAエリアの脱炭素まちづくりを全国の先進モデルとして強かに推進するとともに、この取組を市全域へ波及させ、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、しっかり取り組んでまいります。

次に、家康館・岡崎城のリニューアルについてであります。

大河ドラマの放送を目前に控え、三河武士のやかた家康館と岡崎城の改修も大詰めを迎えております。岡崎城の内壁や床などの内装工事は終了して、今月からは展示物の説明文の設置などが始まってまいります。

また、新設される4階シアタールームでは、入館者は江戸期の岡崎城下町を歩いているかのように体感できるようになるなど、見て感じて楽しめる施設になります。市民の皆様にも、遠くからいらっしゃる方たちにも楽しみながら学べる施設として、1月21日にリニューアルオープンいたしますので、ご期待ください。

なお、岡崎城の入場料は料金体系を改め、市民割を導入し、市民のどんなかたも割安に、気軽に訪れやすくいたしますので、是非、何度もいらして楽しんでいただけたらと思います。

最後に、いよいよ来月から放送が開始される大河ドラマ「どうする家康」についてでございますが、初回放送日の1月8日には、家康公生誕の地 岡崎に主演の松本潤さんを始め、有村架純さん、山田裕貴さんなど5名の豪華キャストの皆さんが駆け付けてくださり、盛大にパブリックビューイングを開催することが決定しました。現在、参加者の募集を行っているところですが、連日たくさんの応募をいただいております、全国の皆さんの関心の高さに驚いております。さらに第2回放送日には、家康公にゆかりの深い大樹寺でパブリックビューイングも予定しており、多くの市民の皆様とともにこの盛り上げを加速してまいりたいと考えております。

また、大河ドラマ館におきましては、ゾーニングパースが発表され、オープンが待ち遠



しいところでございます。大河ドラマや大河ドラマ館などに関する情報発信を行ってまいります公式ツイッターに続きまして、大河ドラマ館の公式ホームページも開設され、大河ドラマ館とあわせて本市の魅力を広く発信するツールが揃ってまいりました。

公式ホームページでは、大河ドラマ館の情報のほか、AIがモデルコースを生成する機能により、大河ドラマ館に来訪されたかたがそれぞれの嗜好に合わせた市内周遊を楽しんでもらえるようにしております。

また、公式ツイッターでは、大河ドラマ館オープンに向けたカウントダウンの投稿などを行っており、機運醸成にも一役買っているところでございます。

さらに本日から、大河ドラマ館の前売り券や、期間中であれば何回でも入館できるパスポートの発売も開始されましたが、すでにお問い合わせも多数いただいている状況であり、多くのかたが楽しみにされていることがよく分かります。

今後、市内外のイベントなどにも積極的に出展して、大河ドラマ館のPRとともに、前売り券などの入場券の販売も行っていき、これらの期待感にお応えしてまいります。

合わせて、大河ドラマ館のチケットの半券など入館料の支払いを証明できるものを提示したお客様に特典を提供するお店・事業所を現在募集しています。本市を訪れたかたへのおもてなしについても、準備も進めているところでございます。

さらには、大河ドラマ放送によるPR効果が一過性とならないためにも、この機会を最大限に活用し、地域の魅力を広く発信するために、幸田町と共同で「岡崎版図柄入りナンバープレート」を導入いたします。デザイン案につきましては、6,000件を超える投票を受け付け、初陣の徳川家康公が着用した兜をはじめとする、年代ごとの兜の変遷を表現したデザインに決定いたしました。

ナンバープレート取り付けによりいただいた寄付金は、公共交通機関の利便性向上や観光客受け入れ強化、交通事故防止に資する事業に活用してまいります。来年10月頃の交付開始を予定しておりますので、是非、多くのかたに取り付けていただき、大河ドラマとともに本市を盛り上げてまいりたいと思っております。

以上、御説明申し上げますとともに、提出をいたしております諸議案につきまして、よろしくご審議の上、御議決を賜りますようお願い申し上げます、説明を終えさせていただきます。ありがとうございました。